

令和5年 JAなんぽろ青年部通常総会



くみあいだより

JAなんぽろ



JAなんぽろホームページアドレス <http://www.ja-nanporo.or.jp>



南幌町農業協同組合

大学生に南幌産の美味しさを届ける

12月19日（月）、南幌町と北海道文教大学との包括連携協定による記念事業の一環として、北海道文教大学で新米贈呈式が行われました。

今回贈呈されたのは、南幌産「なんぼうピュアライスななつぼし」100kgであり、贈呈式では、林代表理事組合長と大崎町長より渡部学長へ米俵が手渡されました。

贈呈式当日は、「なんぼうピュアライスななつぼし」新米を使用した「おむすび」が教員や学生達に振舞われ行列を作るほどの人気でした。



実際に新米をくちにした学生からは、「ほどよい粘りと甘みがあるお米で、食べやすくて美味しい」と好評の声が聞こえました。

林代表理事組合長からは、「南幌はお米の产地として、空知管内であるが北広島市のすぐ近くでおいしいお米を作っています。今年も安全で安心な農産物が出来たので学生の皆さんには、南幌産の新米をたくさん食べていただきたい」と話されました。

贈呈された新米は、1月中旬までに5回に分けて学内で「おむすび」として配布されます。

令和5年産農作物の豊作を願つて

1月6日（金）、JA2階中会議室で南幌神社より菱田裕一宮司を招き新春祈願祭が行われました。

祈願祭には、林代表理事組合長をはじめ、役員や青年部長、女性部長、各部署の部・室・次長職が参加しました。

本年も、五穀豊穣を願うと共に組合員・役職員が無病息災でいられるようお祓いをしていただき、その後、参拝者全員が玉串奉奠を行いました。



令和5年第1回営農振興組合長会議開催

1月17日（火）、JA3階大会議室で第1回営農振興組合長会議を開催しました。

会議の前段に、南幌町米麦改良協会より推進員委嘱が行われ、林代表理事組合長より各営農振興組合長に委嘱状が交付されました。

當農振興組合長会役員について、会長に晚翠西営農振興組合長の佐々木将人さん（有）ハル、



副会長に栄進営農振興組合長の若杉真さんとなりました。また、他の議案についても協議され質疑応答が行われました。

各営農振興組合長におかれましては、JA事業の円滑な推進を目的に1年間ご協力をお願いいたします。

令和5年度 営農振興組合役員名簿

地区名	振興組合長	副組合長
三 重	(株)山口ファーミング 山口 達矢	前川 福太郎
青 葉	(有)ライフ 古道 洋壯	清水 基晴
鶴 城	山田 健士	(有)エイム 服部 克久
晩 翠	(有)フローア 岡 昭人	(有)フローア 増田 和樹
晩 翠 西	(有)ハル 佐々木 将人	武田 政俊
1 1 区	館脇 諭	清野 浩史
夕 張 太 西 幌	(有)ほなみ 神馬 悟	牧野 博一
川 向	斎藤 和博	河合 美智彦
栄 進	若杉 真	(株)ファーム白倉 白倉 陽介



実行者
JAなんばろ青年部
編集責任者 宗良岡優平

青年部通常総会を開催

令和5年1月10日（火）、JA3階大會議室で令和5年JAなんばろ青年部通常総会を開催しました。

総会では令和4年度事業報告並びに令和5年度事業計画・収支予算や役員改選など、審議された議案については全て承認されました。

岩村新部長からは、「JAなんばろ青年部をもっと盛り上げるために、盟友も消費者も楽しめる青年部活動を目標したい」と新体制に向けた意気込みを話してくださいました。

総会によって今年度の活動基本方針等が決まったので、今後は新役員を筆頭に青年部活動をより盛り上げていきたいく思います。
なお、活動基本方針と新役員は次のとおりです。

令和5年度活動基本方針

1. 盟友一人一人が青年部としての自覚を持ち、青年部活動に参加する。
2. 関係機関と連携し、食農教育の一端を担い、食の大切さを伝える。また、ホクレンくるの杜での農業体験・町内食育活動を通じ、消費者との交流を深める。
3. ホームページ等のツール運営や南幌農産物の販売活動を通じて、JAなんばろ青年部活動を全国に向けて発信する。
4. 関係機関との交流会を実施し、知識を広める。
5. JA夜まつり等のイベントに参加し、南幌町の活性化に貢献する。
6. 営農技術向上のため各種研修会、勉強会に積極的に参加する。

部長

岩村 国宏（11区・株響）

副部長

奈良岡 凌平（川向）

会計

若杉 宗樹（栄進）

代表監事

池岡 真吾
(夕張太西幌・有ほなみ)

監事

石川 卓也（晩翠西）

筆頭参与

渡辺 純樹（晩翠西）

参与

木村 友紀
(夕張太西幌・有ほなみ)



出席者全員によるJA青年組織綱領朗唱



令和4年度事業報告の様子



岩村新部長による令和5年度方針演説



令和5年度の新役員紹介



議長には米田昌樹さん(栄進・有)NOAH)が選出されました



がんばろう三唱の様子



発行者
JAなんばろ青年部
編集責任者
奈良賀凌平

道外視察研修を盟友に報告

1月10日（火）、JAなんばろ青年部通常総会終了後、JA3階大会議室で、令和4年度JA空知青年部連合会道外視察研修に参加した木村友紀参与と岩村国宏部長の2名による報告会を行いました。

当研修では、福岡県・佐賀県・熊本県の3県を訪れエフコープ生活協同組合・ゆめファームSAGA・ネットワーク大津株式会社等を視察しました。

報告の中でも特にエフコープ生活協同組合の話題で盛り上がりました。エフコープでは、南幌産「きりりんご」を取り扱っており、日々育てている農作物が遠方の地である福岡県で売られていることを知り、「きりりんご」を作付けしている盟友からは嬉しそうな表情がうかがえました。参加し学んだ事を盟友に伝えるよい報告会となりました。



家庭介護について学ぶ

12月16日（金）、JA2階小会議室でWEBにて開催された令和4年度家庭介護教室にJA女性部部員

4名が参加しました。

家庭介護教室では、JA北海道厚生連事業推進部健

康福祉課健康福祉課課長の齊野涼介氏、JA北海道厚生連札幌厚生病院患者サポートセンター看護科長の宮川

恵氏、JA北海道厚生連札幌厚生病院患者サポートセ

ンター看護係長の川村真澄氏の3名によって講義が行

われ、「認知症への理解」「日常生活における介護予防・フレイル予防」「在宅療養を支える医療・介護支援について」と題してお話し頂きました。

参加した部員からは、「毎年参加しているが、学ぶ事が多い」との感想も聞かれました。

今後もJAなんばろ女性部では、様々な学びの場を大切にしていきたいと思います。



女性部短信

令和4年度南幌町蔬菜園芸組合総会開催



1月24日（火）、3階大会議室で令和4年度南幌町蔬菜園芸組合総会が開催されました。来賓としてJAより高島専務と辻崎常務、南幌町より大崎町長が出席し行われました。

議案審議では、令和4年度事業報告並びに收支決算報告及び監査報告があり、その後、令和5年度事業計画案並びに收支予算案が審議さ

れ、議案についてはすべて承認されました。

総会にあたり南蔬菜園芸組合長からは、「3

年ぶりに書面開催ではなく、皆さんのが集まり開催できたこと嬉しく思います」と話されました。

報告事項では、令和4年度販売実績報告や各蔬菜の価格安定補償基金内訳が事務局より蔬菜園芸組合員に報告されました。

永年の勤続を表して



1月6日（金）、JA3階大会議室で勤続30年を迎えた職員5名の表彰式が行われ、林代表理事組合長より賞状と記念品が贈られました。勤続30年を迎えた職員は、平野双一審査役（南幌町農業農村整備事業推進本部局長）・笹島忍部長（総務部）・坂本伸彦課長（経理電算課）・渡辺邦英課長（蔬菜園芸課）・白崎秀史係長（蔬菜園芸課）です。

表彰後に受彰者を代表して、平野審査役より謝辞が述べられました。

受彰された5名は、JAに入協以来30年という長きにわたり、職務に忠実に精励し、農協事業に貢献してきました。また、勤続20年を迎えた職員は、神林成之課長（経営相談課）、西村俊一係長（金融課）の2名となります。

長船技師による営農情報！

復元田に対する施肥



JJAでは昨年秋に組合員の方から提出していただいた土壤分析が終わり、施肥設計相談会に向けて土壤分析結果に基づく処方箋を作成中です。施肥相談会の日程が決まれば連絡しますので宜しくお願ひします。

令和4年度の土壤分析の特徴は分析点数は前年の2倍近く増え、特に復元田の分析依頼点数が増えています。今月は復元田の特徴と施肥について述べたいと思います

1 土壤窒素の供給と吸収

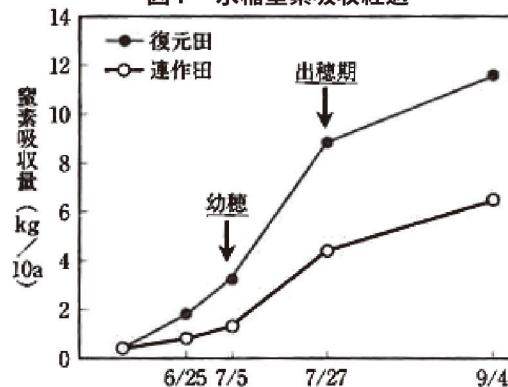
転作畠を一定期間経過後に再び水田に戻した復元田は、通常の連作田とは異なる特徴が見られます。

(1) 畑地利用時に乾燥が進んで亀裂が下層土まで発達し、連作田よりも透排水性が向上しています。

(2) 泥炭土の場合、転作時のプラウ耕などで下層の泥炭が上層へ混入し、作土の有機物含量が増加します。

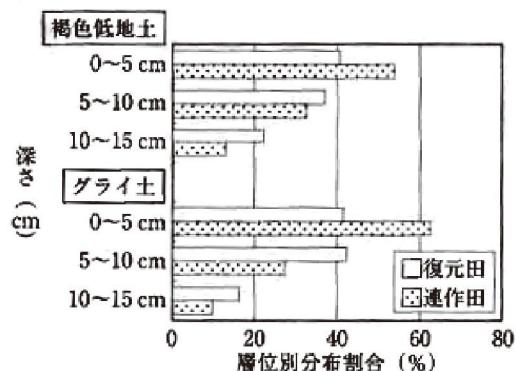
(3) 水田土壤をいったん乾燥してからたん水すると、無機態窒素量が増加します。これは、乾土効果により多量の窒素が供給されるためです。通常、復元田における水稻窒素吸収量は連作田と比べて増加します。

図1 水稻窒素吸収経過



(北村、泥炭土、無窒素区、1984年)

図2 水稻根層位別分布図



(上川農試、1975年)

2 復元田に対する窒素施肥対応

「北海道施肥ガイド2020」では、復元田の窒素施肥に当たり、土壤区分や前作物の種類や復元後の年数ごとに、施肥標準に対する窒素施肥率を設定しています。

表1 復元田における窒素施肥対応

土壤区分	前作物の種類	復元後の年数	施肥標準に対する施肥率	施肥配分	
				全層	飼条
低地土(乾)	豆類、麦類、そば、馬鈴しょ	1年目	70~80%	50%	50%
		2年目	100%		
灰色低地土	てん菜茎葉すき込み、牧草、野菜	1年目	50~70%	50%	50%
		2年目	60~80%		
火山性土	秋まき小麦春すき込み ¹⁾	1年目	60%	50%	50%
		1~2年目	60~70%		
		1~2年目	40~60%		
グライ低地土 台地土	豆類、麦類、そば、馬鈴しょ	1年目	50%	50%	50%
		1~2年目	50~60%		
		1~2年目	30~50%		
泥炭土	豆類、麦類、そば、馬鈴しょ てん菜茎葉すき込み、牧草、野菜 秋まき小麦春すき込み ¹⁾	1~3年目	40%	50%	50%
		1~2年目	40%		
		1年目	40%		

1) 雪腐れ病の多発などによりやむを得ず起生期にすき込む場合の施肥対応

(「北海道施肥ガイド2020」より)

*透水性の大きい礫質土壤では減肥しない

*リン酸・カリの施肥量は施肥標準に従う

*秋まき小麦春すき込みの2~3年後は麦類に準ずる

参考資料:「北海道の施肥最適化マニュアル」「北海道施肥ガイド2020」

理事会報告

12月27日

12月臨時理事会で審議された主な内容について、
次のとおり報告申し上げます。

【監査講評】

1、第3四半期末 自治監査

1、令和5年度事業基本方針について
2、令和4年度クミカン供給限度額の変更について
3、マネロン等防止に係る取組状況（リスク評価書）について

【報告事項】

- 1、秋の経営懇談会の開催結果について
- 2、令和5年産米の「生産の目安」について
- 3、令和4年度農業割戻奨励の精算について
- 4、令和3年産系統米の本精算について
- 5、令和3年産民間流通麦本精算について
- 6、令和3年産国内麦流通円滑化特別対策事業交付金の支払について
- 7、令和3年産北海道共同計算大豆本精算について
- 8、令和4年産民間流通麦の概算金追加支払について
- 9、令和4年産委託調製大豆に係る仮渡金の支払について
- 10、令和4年産委託調製なたねに係る仮渡金の支払について
- 11、令和4年産原料てん菜に係る仮渡金の支払いについて
- 12、令和4年産玉ねぎの概算金支払について
- 13、令和4年産玉ねぎの概算金支払について
- 14、令和4年産野菜價格安定事業価格差補給金の交付について
- 15、会計監査人の再任について
- 16、令和4年度農地流動に係る出資増口について
- 17、令和4年度第3四半期仮決算の結果について
- 18、コンプライアンス・プログラムの進捗状況について
- 19、リスク情報について
- 20、有価証券の取得について
- 21、年末手当の支給について
- 22、年次手当の支給について

～表紙の紹介～

◎今月卯せ、当JA青年部の皆さんに表紙を飾つていただきました。



【報告事項】

- 1、第1回 営農振興組合長会議の開催結果について
- 2、12月末 農産物保管状況について
- 3、12月期 JAローンの貸付について
- 4、内部監査の実施報告について
- 5、12月末 財務状況について

編集後記

くみあいだより担当の吉田は、青年部部室の除雪を行いました。



私達のJA

令和4年12月末日現在

組合員 2,692名
(前年同期比 ▲21名)

正組合員 445名
(前年同期比 ▲4名)

准組合員 2,247名
(前年同期比 ▲17名)

正組合員戸数 280戸
(前年同期比 ▲2戸)